

図書室ビンゴ

11月1日（金）～11月29日（金）まで、図書室ビンゴをします！

〈図書室ビンゴのルール〉

- ①図書室に、図書室ビンゴの紙をもらいに行く。
- ②ビンゴの紙の9つのマスに書いてある本を借りる。
- ③本を読む。
- ④読んだ本のタイトルを、マスの空いているところに書く。
- ⑤たて・よこ・ななめ、どこでも1列そろったら、図書室に持って行く。
- ⑥1列そろっていたら、プレゼントがあります！
- ⑦9つのマス全部そろったら、さらにプレゼントがあります！

※プレゼントがもらえるのは、12月13日（金）までです。それまでに、ビンゴの紙を図書室に持って来てくださいね。

〈ビンゴ用紙の見本〉

【先生のおすすめの本】 (ろうかにある本です)	【外国の物語】	【0・1・2番の本】 (哲学・歴史・伝記・地理)
【8・9番の本】 (言葉・漢字・俳句・詩)	【自分の好きな本】	【4・5・6番の本】 (科学・動物・植物・料理・産業)
【日本の物語】	【3番の本】 (社会・仕事・行事・くらし)	【初めて読む本】

八幡市立八幡小学校 図書室

本のおたより

(4年生～6年生用)



令和6年10月28日秋号

シリーズの本読んでみませんか？

今回の本のおたよりでは、シリーズになっている本をしょうかいします。シリーズの本というのは、何さつにもわたって、同じ人物や、動物などが登場し、同じような設定で、お話が続いていく本のことです。読書の秋に、シリーズ読みに挑戦してみませんか？シリーズ全巻読みつくした時の達成感は、他の何にも変えられない気持ちよさがありますよ。

また、今、図書室のろうかでは、11月の読書月間の取組として、八幡小学校の先生方のおすすめの本を展示しています。ぜひ、借りにきてくださいね。

絵本『つるばら村のパン屋さん』 つるばら村シリーズ（全10巻）

茂一久美子/作 中村悦子/絵 講談社 不思議だけど、心温まる物語です

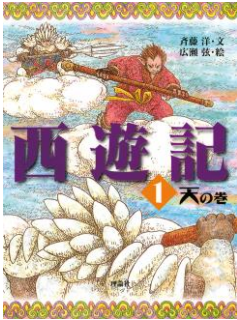


三日月屋は、注文を受けると、どこへでもパンを配達するパン屋さんです。そこで働くパン職人のくるみさんは、村中の人においしいパンを食べてもらいたいなと思っていました。

ある日、手紙が届き、タンポポのはちみつの入ったパンを焼いてほしいというちょっと変わった注文が入りました。くるみさんが、心をこめてパンを焼きあげると、パンを受け取りにきたのは…。

三日月屋のパンは、ドングリのパンや、雨つゆのパン、ツルバラのジャムのパンなど、ちょっと変わったパンですが、どれも食べてみたくなるおいしそうなパンばかりです。

物語『^{さいゆうき}西遊記』^{さいとうひろし}斎藤^{さいゆうき}洋の^{かん}西遊記シリーズ（全16巻）
^{ごしょうおん}呉承恩/原作 ^{さいとうひろし}斎藤^{ひろせげん}洋/文 ^{ひろせげん}広瀬^{りろんしゃ}弦/絵 理論社 **1度は読んでおきたい名作です**



大きな石から生まれた一ぴきのさる、^{そんごくう}孫悟空。そのさるは、美しく、かしこく、^{ゆうき}勇気もあったため、さるの王さまとなりました。永遠の^{えいえん}命^{いのち}が欲しくなった^ほ孫悟空は、仙人の元で修業をすることにします。筋東雲という雲を乗りこなし^{そんごくう}空を飛んだり、体の毛を口にふくみ、ふき出し、自分の分身を出したり、^と自由自在に如意棒をふり回し、武器にしたりと、^{じぶん}自分の^{ぶんしん}分身を出したり、^{じゆうじざい}自由自在に如意棒をふり回し、武器にしたりと、^{ぶき}武器にしたりと、^{ものし}こわい物知らずとなりました。
しかし、^{そんごくう}孫悟空は、いたずらが大好きで、^す天界にある桃や酒をぬすんだり、^{てんかい}天界にある桃や酒をぬすんだり、^{もも}暴^{さけ}れまわったりしてしまします。すると、九人の天神がおこって、^{そんごくう}孫悟空に戦いをしかけにやってきました。^{そんごくう}孫悟空は、九人に囲まれてもさっと身をかわし、^{かこ}如意棒でこうげきをしかけ、^み次々とたおしてしまうのです。

そんな敵無しに思われた^{てきな}孫悟空にも敵わない相手が^{そんごくう}現^{かな}れて…。そして、この先、長い^{あいて}旅^{あらわ}が待っているようですよ。

物語『^{ことばや}言葉屋』^{ことばや}言葉屋シリーズ（全10巻）
^{くめえみり}久米絵美里/作 ^{もとやままさこ}もとやままさこ/絵 ^{あさひがくせいしんぶんしゃ}朝日学生新聞社

あなたのつかっている言葉、見直してみませんか？

小学5年生の詠子は、ある日、おばあちゃんが^{はたら}働く^{ざっか}雑貨屋さんの奥にある工房にこっそり入ります。すると、そこは、おばあちゃんの本業である^{ほんぎよう}言葉屋という仕事をする場所でした。おばあちゃんに^{ことばや}言葉屋の成り立ちと、責任を教えてもらったその日から、^{えいこ}詠子は、^{ことばや}言葉屋の仕事を引き継ぐことになりました。^{ことばや}言葉屋は、^{ことば}言葉そのものをあつかっているわけではありません。「^{ことば}言葉を口にする^{ゆう}勇気」と、「^{ことば}言葉を口にしない^{ゆう}勇気」をあつかっています。

ある日、クラスの友だちに、口にしたいけど、^{ゆう}勇気がなくて口にできないことがあると、打ち明けられた^う詠子は、早速、^{えいこ}言葉屋として仕事をします。さて、初めての^{しごと}お仕事は上手いくのでしょうか？

^{ことば}言葉をあつかっているシリーズだけあって、^{ことば}つかわれている^{ことば}言葉が美しいので、^{うつく}参考^{さんこう}にしてみてもいいでしょうか？



物語『^{あんごう}暗号クラブ』^{あんごう}暗号クラブシリーズ（全20巻）
^{ペニー・ワーナー}ペニー・ワーナー/著 ^{ばんゆみこ}番由美子/訳 ^{ヒョーゴノスケ}ヒョーゴノスケ/絵 KADOKAWA



暗号をつかったなぞ解きにちょう戦してみましよう！

小学校5年生の4人は、〈^{あんごう}暗号クラブ〉を^と結成し、モールス^{しんごう}信号や、手旗^{てばたしんごう}信号、指文字^{ゆび}、点字^{てんじ}、英数字^{えい}暗号^{あんごう}、カエサル^{あんごう}暗号など、あらゆる暗号や信号を^{けんきゆう}研究し、仲間同士で^{なかもどうし}ヒミツの暗号を使って、^{あんごう}コミュニケーションをとっていました。

ある日、近所で、火事が起き、その窓に、4つの棒人間のような絵の記号が残されていました。その不思議な暗号は何を示しているのでしょうか？他にも様々な暗号のヒントがかくされているようです。〈暗号クラブ〉の4人は、なぞを解いて事件を解決することができるでしょうか？最初のページに、ローマ字対応表や、指文字対応表などが付いているので、みなさんも〈暗号クラブ〉と一緒になぞを解いてみましょう！

物語『^{しりつたんけんかがくえん}私立探検家学園 はじまりの島で』^{しりつたんけんかがくえん}私立探検家学園シリーズ（全5巻）
^{さいとうりん}斎藤倫/著 ^{くわばらたく}桑原太矩/画 ^{こうだんしゃ}講談社

ワクワクする正解のない探検に出かけよう！

小学5年生の女の子松田コロンは、私立探検家学園に通うことになりました。そこは、探検家を目指す子ども達が世界中から集まってくる学校でした。

入学初日、新入生達はいきなり試されます。校舎の前に川が流れていますが、橋はかかっていないのです。その川を、新入生達は、助走をつけて飛びこえたり、着ていた服でうきぶくろを作ったり、^な投げ^{なわ}縄をわたして^{つた}伝^{さまざま}ってきたりと、様々な方法でこえていきます。新入生から川をわたる^{せいかい}正解は何だったのかと聞かれた^{がくえん}学園の先生は、「^{せいかい}正解なんてありません。ここから先は正解のない世界です。」と答えるのです。

そんな探検家学園で初めての^{たんけんかがくえん}実習^{はじ}を^{じっしゅう}おこな^{たいいくかん}います。体育館の地下4階から、^の乗り物^{のもの}に乗り、^つたどり着いた場所は、^{ばしょ}原っぱや、^{けわ}険しい山、海が広がる^{だいしぜん}大自然。そこで出されたミッションは、ドラゴンのたまごを見つけ出すことでした…。

